

京大探訪を実施しました

去る8月29日（木）、2年生希望者47名（文系6名、理系41名）を対象に、
京都大学 吉田キャンパスにて、京大探訪を実施しました。

●日程

①本校OBの先生方による京都大学についての講義・研究室見学

文系 経営管理大学院 特任教授（京都大学名誉教授） 小林潔司先生（西高24回生）

理系 大学院工学研究科 材料工学専攻 教授 岸田恭輔先生（西高41回生）

大学院工学研究科 材料工学専攻 准教授 田畑吉計先生（西高44回生）

②本校OB／OGによる座談会

●当日の様子



時計台前



文系・小林先生講義



理系・田畑先生講義



理系・岸田先生講義



先輩と昼食



座談会

生徒の感想（抜粋）

◎文系

●実際にお話を伺うまでは人数が少ないということもあって緊張していましたが、人数が少ないからこそ先生との距離が近く、詳しいお話を聞くことができ、充実した半日になりました。数日前までベトナムにいらっしやったという話から、海上の風力発電の話、法律の話、中国と北欧諸国、日本の情報管理の違いなど、お話の内容が多岐にわたっていて聞いていてとても興味深かったです。北欧の福祉制度と個人情報との関係については初めて知りました。どの話題にも AI が絡んでいたことが印象に残っています。AI 友情論のお話を聞いたとき、すぐに、カズオイシグロさんの「クララとお日さま」が思い浮かび、先生が話題に挙げておられて、あの時あの本を読んでいて良かったなと嬉しい気持ちになりました。

◎理系

●今回の研修から多くの刺激をもらい、参加してよかったと強く感じました。大学の概要はもちろん、現在行っている研究の説明や西高出身の在学生の皆さんのお話を、近い距離感でじっくりと聞くことができ非常にためになりました。実際に目の前で使いながら透過電子顕微鏡の説明もしてくださり、あまりの値段の高さや性能の高さ、規模の大きさに驚いたと共に、こんなにも研究のための設備が整っているこの大学で自分も学びたいとより強く感じることができました。また、実際に現地に足を運んで京都の街の雰囲気を楽しむことも、より一層京都は素敵な街だ、京都で大学生活を送りたいという気持ちを強めてくれたと思います。今回の研修で得たことや感じたことを大切に、今自分がしなければならないことを頑張っていきたいです。

●実際に京大を訪れることができ、先生方から研究内容について説明を受けたり、何より西高 OB の方と交流して受験勉強や大学生活についてお話を伺ったりしたことで「京都大学」が以前より身近に感じられるようになりました。

特に昼食時には OB の方と相席させてもらい、勉強への向き合い方や家族との意思疎通について詳しくお聞きし、受験への意気が高まった上、大学受験をより「現在差し迫っている自分事」として捉えられるようになり大変有意義な時間を過ごしました。

「京大生になりたい」。そんな思いが強まった一日でした。ありがとうございました。

●実際に講義を受けたり、見られる機会の少ない顕微鏡を見たり、研究室に入ったりなど、貴重な体験ができて楽しかった。講義の内容が難しく不安になったが、「研究が難しく今は理解できないが、京大を目指してもいいか」という質問に対して、先生が「大丈夫」とおっしゃっていたので安心した。また、西高 OB、OG の大学生の方のお話を聞きできたのがよかった。大学は自由で、バイトやサークルができて楽しいとおっしゃっていたので、受験を乗り越えたらこんなに楽しそうな生活が待っていると思うと頑張れそうだと思った。昼食のときもそのうちの一人の先輩と同席でき、高校時代の勉強法や、順位、私が目指している学部について教えてくださって、モチベーションが上がった。